

企業主導型保育事業における午睡時抜き打ち調査の状況について

(令和3年度結果)

目的

○公益財団法人児童育成協会において、企業主導型保育施設における乳幼児の安全確保の観点から、午睡時の職員配置状況や施設における午睡状況等の確認及び必要な指導を実施する。

実施状況

○午睡時抜き打ち調査の実施施設：600施設（実地監査：77施設、リモート監査：523施設）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、施設への抜き打ちによる訪問が困難な状況となったことから、立入調査の一環として、600施設のうち523施設から午睡時の動画を提出させ、リモートにより状況を確認した。

○対象施設

0歳児・1歳児の利用数が3人以上の施設、保育士比率が100%未満の施設を対象とし、次の施設を優先的に実施した。

- ・令和2年度の立入調査（リモート監査を含む）において、多くの指摘があった施設
- ・令和2年度に事故報告や情報提供、通報があった施設

		実施施設数	文書指導施設数	口頭指導施設数
令和3年度	実地監査	77施設	22施設（28.6%）	34施設（44.2%）
	リモート	523施設	2施設（0.4%）	14施設（2.7%）
	計	600施設	24施設（4.0%）	48施設（8.0%）
令和2年度	実地監査	0施設	0施設（—）	0施設（—）
	リモート	662施設	20施設（3.0%）	58施設（8.8%）
	計	662施設	20施設（3.0%）	58施設（8.8%）

令和3年度主な指摘事項

具体的な指摘事項	R3年度件数 (割合)			【参考】 R2年度件数※ (割合)
	実地監査	リモート	計	
・午睡時の利用児童同士の間隔が十分に確保されていない	8 (10.4%)	19 (3.6%)	27 (4.5%)	1 (0.2%)
・午睡時の状況をチェック表等で確認し、記録していない	4 (5.2%)	21 (4.0%)	25 (4.2%)	0 (-)
・午睡室の設備等の危険防止、安全対策がとられていない	5 (6.5%)	15 (2.9%)	20 (3.3%)	0 (-)
・年齢別のブレスチェック等が適切に行われていない	1 (1.3%)	18 (3.4%)	19 (3.2%)	16 (2.4%)
・掛物（布団、タオルケット等）、シーツの配慮が適切に行われていない	4 (5.2%)	14 (2.7%)	18 (3.0%)	0 (-)
・うつぶせ寝の児童が見られた	7 (9.1%)	9 (1.7%)	16 (2.7%)	0 (-)
・午睡室の明るさが十分確保されていない	11 (14.3%)	1 (0.2%)	12 (2.0%)	0 (-)
・外部からの侵入防止に対する安全対策がとられていない	11 (14.3%)	0 (-)	11 (1.8%)	0 (-)
・午睡時に必要な保育従事者数が確保されていない	11 (14.3%)	0 (-)	11 (1.8%)	0 (-)

※令和2年度については全件リモートにより実施。